

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	高齢者あんしんサポート事業				事業番号	011-298	
担当部署名	健康福祉局	局	長寿社会部	部	長寿支援課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4)高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現	
			有	取組の方向性	⑤高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を		ターゲット	3.8
			有	取組	地域包括ケアシステムの推進			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—		目標値	—

2	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和6(2024)～8(2026)年度）		
3	事業開始年度	令和 6 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	介護保険法、共生社会の実現を推進するための認知症基本法		

事業の概要

5	事業の実施主体	堺市					
6	事業の対象	高齢者及びその家族等				対象数	単位
						約230,000	人
7	事業の目的	市民協働・公民協働の下、地域全体で高齢者を見守る体制を構築するほか、人生の最期まで自分らしく生きるための「終活」を支援することで、高齢者がいつまでも安心して暮らし続けることができる地域社会を実現する。					
8	事業内容	（1）ICTを活用した高齢者見守り支援「みまもりあい事業」 民間事業者と連携して、「みまもりあいアプリ」を活用した認知症等高齢者の見守りサービス（高齢者が行方不明になった際の発見支援）を提供。高齢者等が行方不明になった際に発見者から家族等に連絡できる緊急連絡用ステッカー「みまもりあいステッカー」を配布する。同ステッカーでは、匿名化されたIDから独自の転送システムで家族等と直接電話が繋がり、家族等の個人情報の公開は不要。 （2）市民向け終活セミナー・終活相談支援の実施 民間事業者との協定に基づき、市民向けの終活セミナーや終活相談支援（電話相談窓口等）を実施。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	株式会社セーフティネットリンクージ					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができる環境の構築						
	当該目標を設定した理由	認知症高齢者が安心して暮らし続けられ、高齢者全体の安心な生活環境の構築を行うため。					
	目標に対する実績	—					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	みまもりあい事業新規申請者数（累積）			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		人	目標値	200	350	500	
			実績値	208	315		
			達成率	104%	90%		
	当該指標を選定した理由	申請者数を増やすことで、認知症高齢者が安心して暮らし続けられ、高齢者全体の安心な生活につながるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	過去2年間の実績の平均値から算出					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	高齢者あんしんサポート事業	事業番号	011-298
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	1,113	4,773	4,736	3,420	3,172
	国支出金	429	1,837	1,823	1,317	1,221
	府支出金	214	977	912	658	610
	市債	0	0	0	0	0
	その他（被保険者保険料）	256	1,098	1,089	786	730
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	214	861	912	659	611
14	人件費（b）	2,430	2,430	2,520	2,520	2,610
15	年間経費（c）=(a)+(b)	3,543	7,203	7,256	5,940	5,782

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	決算				R7	決算		
16	報酬費	R7	決算	43	8	印刷製本費	R7	決算	215	42
		R8	予算	69	13		R8	予算	336	65
	通信運搬費	R7	決算	74	14		R7	決算		
		R8	予算	171	33		R8	予算		
	手数料	R7	決算	1,364	263		R7	決算		
		R8	予算	1,364	263		R8	予算		
	各業務委託料	R7	決算	264	51		R7	決算		
		R8	予算	0	0		R8	予算		
	その他使用料及び賃借料	R7	決算	1,460	281		R7	決算		
		R8	予算	1,232	237		R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和6年度	令和7年度
17	① みまもりあい事業申請者数	人	208	315
	② 上記①にかかる年間経費	千円	7,203	5,940
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	34,630	18,857
	算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	みまもりあい事業の令和7年度末時点の申請者数（累積）は315人となり、着実に増加しており、ICTを活用した高齢者を見守る体制構築に効果的に取り組むことができている。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	認知症の高齢者等が行方不明となったときに、保健、医療、福祉、介護等の事業者や地域の住民の支援を得て、当該認知症高齢者等を早期に発見できるような体制を構築することによって、基本計画の取組の方向性である「高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備」に寄与している。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	令和6年9月よりみまもりあい事業を開始し、着実に申請者数を増やしている。認知症高齢者等が行方不明になった際に、地域住民や警察等の支援を得て早期発見につなげられる体制構築が図れており、今後もニーズの高い事業である。
	有効性	■ 高い □ 低い	